

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	県代行事業		路河川名等	(村)1-3号線他
事業毎の番号	1	市町村名	野沢温泉村～飯山市	箇所名(ふりがな) 前坂～北竜湖(まえさかからほくりゅうこ)
事業目的	本路線は、古くから地域のつながりが深い、北信濃の国際的リゾート地である野沢温泉村前坂地区と歴史と文化の郷 飯山市小菅地区とを連絡する道路である。現道は、急勾配及び幅員狭小により、大型車の通行や除雪に支障をきたしており、当該区間のうち1.1kmは、冬季閉鎖を余儀なくされている。そこで道路整備により、安全を確保の上、冬季閉鎖解除をはかり、地域間の交流を促進すると共に、広域観光圏「信越自然郷」における観光資源の連携強化にも寄与するものである。			
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法 豪雪地帯対策特別措置法	
関連する事業、計画等	「長野県過疎地域自立促進計画」、「飯山市過疎地域自立促進計画」、「野沢温泉村過疎地域自立促進計画」			
保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象:(不特定多数) 計画交通量 250台/日			
着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	-	財源内訳(千円)
全体事業内容(主な工種)	*道路改築工 L=1600m、W=4.0(6.0)m		500,000	275,000 200,000 25,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	・飯山市小菅地区と野沢温泉村前坂地区を結ぶ地域間交流道路の冬季閉鎖解除 ・北竜湖を中心とした観光拠点へのアクセシビリティ、安全性の向上		
	間接的効果(定量的・定性的)	・地域間交流の促進による観光振興		
評価の視点	必要性	○代替道路の有無: 県道飯山野沢温泉線(安全性の高い代替道路) ○生活道路: 前坂と小菅地区の一体的な発展が阻害(冬季閉鎖解消)、両地区は旧瑞穂村 ○利用戸数: 前坂地区88戸、小菅61戸 ○観光振興・地域の活性化: 信越観光圏の道路ネットワーク整備により観光の活性化(野沢温泉-北竜湖等)	評価	A
	重要性	○緊急輸送道路の路線指定: 緊急輸送路に指定されていない ○重点施策との整合: 整合なし ○交通遮断による地域経済への影響: 急峻な山間地を通過するため遮断される可能性あり	評価	B
	効率性	○事業期間: 7年間 ○必要な手続き等: 該当なし ○大型構造物: 大型構造物なし	評価	A
	緊急性	○車の通行の確保: 現況幅員3.0(4.0)m ○過去の災害履歴: 記録なし ○土木系職員数: 野沢温泉村0名、飯山市7名 ○通行規制: 冬季閉鎖区間の解消が図られる	評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有: 市村、関係者に周知、事業協力について承諾済み ○地域の取り組み: 小菅～前坂間道路整備促進期同盟会による積極的な要望活動 ○地域の合意形成: 合意形成が図られている ○地域活性化プロジェクト支援: 文化北竜館を拠点とする文化学園大学と飯山市との地域連携プロジェクトを支援	評価	A
	所管課意見	観光地である野沢温泉街と飯山市を結ぶ県道を補完する道路であるが、幅員狭小により自動車のすれ違いができず、冬季は除雪作業難航のため通行止となっていることから、早期に整備をする必要がある。	採択状況	○
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			

概要図

事業概要説明図表

①事業実施に至る経緯・社会的背景	背景として、野沢温泉村前坂地区と飯山市小菅地区は、小菅神社の信仰を通じて歴史的なつながりが深い地域であるが、現在、北竜湖～前坂間の約1.1kmは幅員狭小、線形不良のため危険であることから、冬季閉鎖区間となっている。小菅地区から前坂地区へアクセスするためには一旦山を下って県道飯山野沢温泉線を經由することとなり、地域間交流の阻害要因となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	飯山市、野沢温泉村で構成する「小菅～前坂間道路整備促進期同盟会」(会長飯山市長)平成17年11月に発足し、熱心な要望活動を展開している。その成果として、小菅～北竜湖間L=1850mがH20年度に県代行事業として事業採択され、H28年度に完成供用したところである。地域(市村)にとっては、残る北竜湖～前坂間L=1600mの整備が悲願となっている。
③事業説明等の経緯	計画区間は、飯山市と野沢温泉にまたがるため、平成27年11月に道路概略設計による基本的な整備方針を市村に説明した。その後、県及び市村より地元関係者へ説明を行い、事業への賛同及び協力の承諾を得ているため、早期の事業化が望まれる。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	「長野県過疎地域自立促進計画」(H28～H32)において、市道4-116号線が県代行事業による基幹的な市町村道整備箇所として位置付けられている。また市村においてもそれぞれの「過疎地域自立促進計画」の中で、地域を支える基幹道路の整備箇所として位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	北竜湖ファミリースキー場周辺から南東方面の小菅神社にかけては、国の文化審議会において、重要な文化的景観「小菅の里及び小菅山の文化的景観」として、平成27年1月26日に選定されている。これをふまえて、現道を有効活用すると共に、地形の変更を必要最小限とした計画とする。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、周辺の豊富な観光資源と北竜湖が道路ネットワークにより結ばれ、信越観光圏の活性化が大きい期待される。
⑦その他	現道を有効利用し、地形の変更を最小限とする計画

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 138° 25' 26.01"
	東経: E 36° 54' 20.23"